

2024年11月20日

## 環境負荷の低減に向けた「資源循環型ATM」の導入について

東邦銀行（頭取 佐藤 稔）では、環境負荷の低減に向けた取り組みの一環として再利用（リユース）部品を活用した「資源循環型ATM」を導入し、11月19日（火）に泉支店（福島市）へ設置しましたので、お知らせいたします。

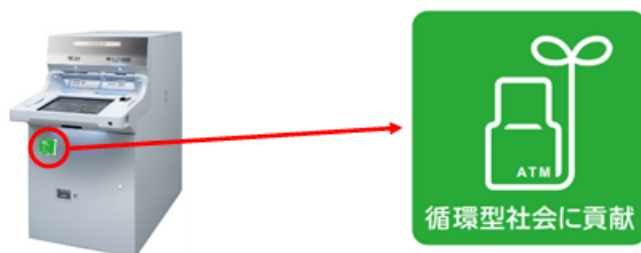
なお、当行では今年度中に31台の設置を予定しており、来年度以降も順次、「資源循環型ATM」への入れ替えを進めてまいります。

当行は、今後も持続可能な地域社会の形成に向けた活動に積極的に取り組んでまいります。

記

### 1. 導入目的

回収した使用済みのATMから抜き取った部品・ユニットのうち、所定の基準を満たした部品を選定、再利用した「資源循環型ATM」を導入、リユース部品の有効活用により資源循環を促進し、サーキュラーエコノミー（※1）の実現と環境負荷の低減に貢献することを目的としています。



「資源循環型ATM」には専用のラベル（※2）を貼付しています。

※1 「循環型経済」とも呼ばれ、製品や素材、資源の価値を可能な限り長く保全・維持し、廃棄物の発生を最小限化することで、資源利用に伴う環境負荷を低減するための経済システム。

※2 「循環型社会に貢献」ラベルは、日立チャネルソリューションズ株式会社の登録商標です。

### 2. 関連するSDGs

12 つくる責任  
つかう責任



東邦銀行グループでは、『サステナビリティ宣言』を制定し、グループ全体で地域経済の活性化や社会的課題の解決に向けた取り組みを通して“地域社会に貢献する会社へ”を目指しています。

以上